

2020年度（指定2年次）

地域との協働による高等学校教育改革推進事業
（グローバル型）

研究開発実施報告書



令和3年3月



千葉県立稲毛高等学校
千葉県立稲毛高等学校附属中学校

目 次

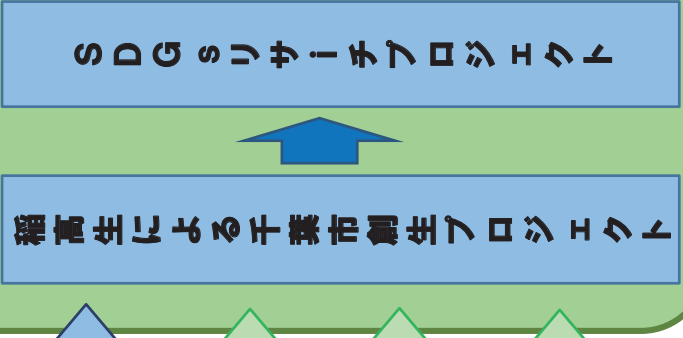
巻 頭 言	1
第 1 章 令和 2 年度研究開発実施内容	2
事業 1 稲高生による千葉市創生プロジェクト	9
事業 2 SDGs リサーチプロジェクト	22
事業 3 国際交流 及び 事業 4 海外研修	50
事業 5 英語ディベート授業	53
事業 6 グローバル企業訪問	55
事業 7 外部との連携	57
事業 8 附属中学校の取組	58
第 2 章 本年度の成果及び来年度以降の課題	61
1 目標設定に対する評価	61
2 来年度以降の課題及び改善点	66
資料	68
1 目標設定シート	68
2 令和 2 年度第 1 回運営指導委員会 記録	70

2030年の持続可能な地域社会を創生するグローバル・リーダーの育成

考え抜く力(課題発見力・計画力・創造力)
 協働する力(柔軟性・傾聴力・状況把握力)
 行動する力(主体性・実行力・働きかける力)

【育成する力】

【探究】



全職員で
育成

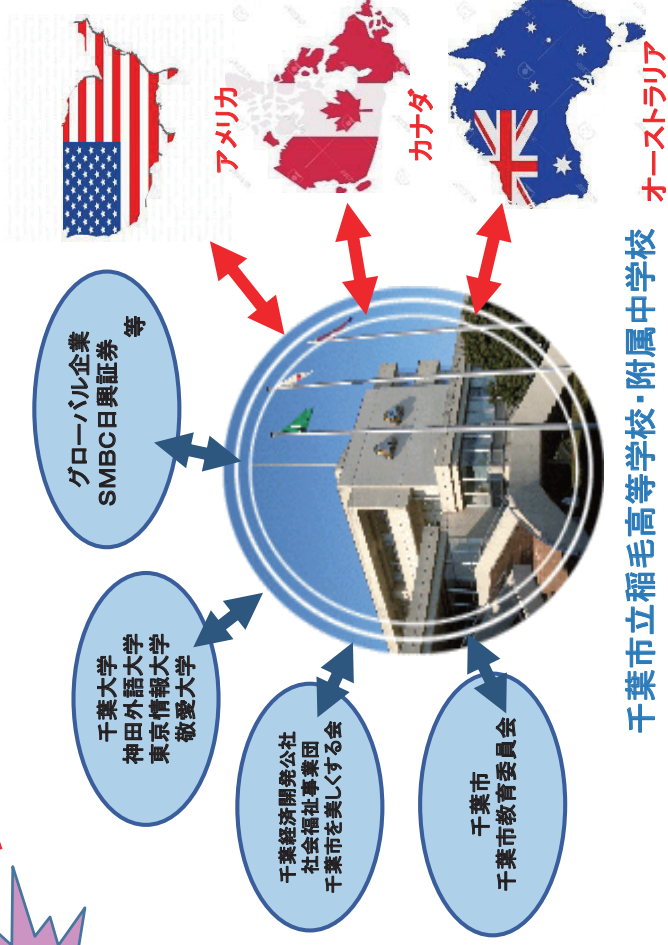
各教科・
科目授業
連携

グローバル
企業訪問

高大連携
授業

グローバル
講演会

外部連携



グローバルな視点で
持続可能な地域社会
を創生！！

海外連携

調査研究
国際交流

コンソーシアム

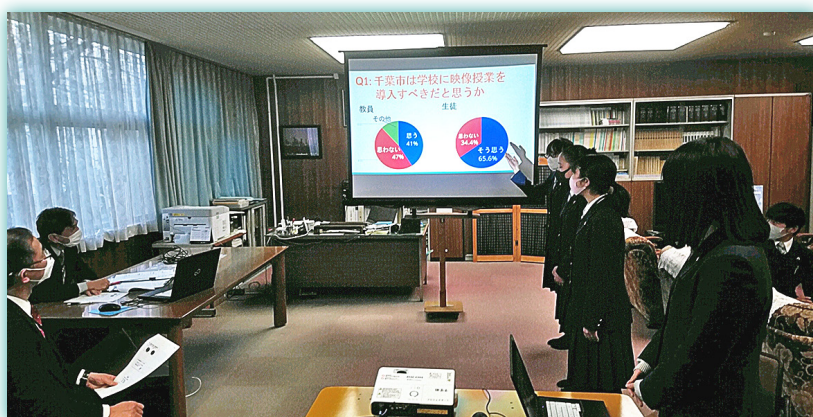
地域連携
助言・協力



「千葉市創生プロジェクト」クラス発表



「千葉市創生プロジェクト」学年発表



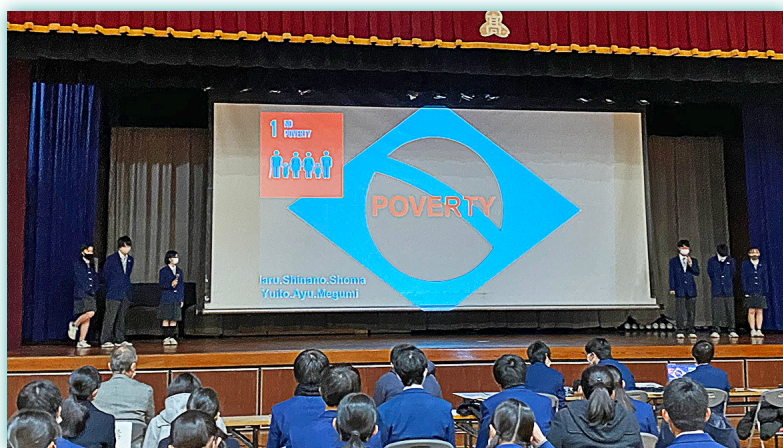
「千葉市創生プロジェクト」校長室での発表



普通科A B組 国際NGOを招いてのセミナー



国際教養科 I 組千葉大学留学生との交流



普通科A B組 SDG Global Solutions Project 発表



国際教養科 I 組 Research Project 発表



成田国際空港への企業訪問

巻 頭 言

千葉市立稲毛高等学校

千葉市立稲毛高等学校附属中学校 校長 佐藤啓之

本校の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」は、『2030年の持続可能な地域社会を創生するグローバル・リーダーの育成』を研究開発構想のテーマに据えスタートし2年目を迎えました。高校1年生では探究活動『稲高生による千葉市創生プロジェクト』、同2・3年生では『SDGsリサーチプロジェクト』の活動を中心として、千葉市内の4つの大学やグローバル企業とコンソーシアムを構築し、グローバルな視点をもって地域の課題を発見し解決する策を考え、コミュニティを支える地域のリーダーとして活躍できる生徒の育成を図っております。

令和2年度は、全世界的な新型コロナウイルス爆発的感染拡大の影響を受け、年度初めの臨時休業、再開後の分散登校や2度にわたる緊急事態宣言の発出等による学習活動の制限に伴い、「総合的な探究の時間」を活用した探究活動の取組に大きな遅れが生じました。人と人との接触を避けることによりリサーチ活動にも制限が加わったほか、本校の国際理解教育の根幹を成す海外語学研修が実施不可能となり、現地での視察や聞き取り調査による情報収集、実施後のプレゼンテーション発表や意見交換ができないという危機的な状況を経験しました。生徒たちの苦勞も並大抵のものではありませんでしたが、それでも昨年度の経験を踏まえて実施方法や在り方の検討に時間をかけ、円滑に進むように工夫してきました。その結果、12月に1・2年生の発表会を予定通り実施し、昨年の取組を上回る成果を得ることができたと思っております。

今後は、共通のテーマを持つ生徒により編成する「ゼミナール（通称ゼミ）活動」に主軸を置き、これまでの探究活動をさらに一步前進させていく計画です。「ゼミ活動」では、『SDGsリサーチプロジェクト』を発展・継承し、「SDGs」の「17のゴール」を意識した研究テーマを生徒自身が設定し、「経済学」「生物学・農学・医療」「歴史学・文化学」など13の分野別ゼミに高校の生徒全員が所属して研究を進めていきます。身近な千葉市の課題を基にした将来へ向けた提言にさらに具体性と論理性が備わっていくことと確信しています。

本冊子には2年目の実践を取りまとめました。これからも運営指導委員会の委員の皆様方、千葉市教育委員会の方々などからご指導・ご支援をいただきながら、稲毛高等学校・附属中学校の探究活動の充実・発展に、そして令和4年に開校予定の稲毛国際中等教育学校への継承に全力で努めて参りたいと考えております。ご高覧のうえ、ご指導ご助言をいただければ幸甚に存じます。

結びに、本校の研究開発に対しまして引き続きご協力いただきました千葉大学の藤川大祐先生、神田外語大学の長田厚樹先生をはじめとする運営指導委員の皆様方、千葉市教育委員会に厚く御礼申し上げます。